

日時：平成 26 年 3 月 11 日 (火)午後 6 時
場所：大阪府立住吉高等学校 会議室

出席者 笠井俊夫氏、若林勝雄氏、柴田俊次氏、波々伯部益尚氏、川下明彦氏
校長、教頭、両首席、乾、斎藤、藤井、永山、辻田（司会）、丸山（記録）

次 第

1. 校長より挨拶と報告

2. 今年度の事業報告

- (1) 進路結果について（乾進路指導部長より）
- (2) SSH事業について（岡本首席より）
- (3) EFHS 事業について（斎藤国際文化科長より）
- (4) 国際交流について（藤井指導教諭より）
- (5) ユネスコスクール活動について（山中首席より）
- (6) 生活指導について（永山生活指導部長より）

3. 質疑と協議

4. まとめ

5. 次年度開催について

平成 26 年 6 月、平成 26 年 10 月、平成 27 年 3 月実施の予定（年 3 回）

6. 校長謝辞

質疑・協議内容

SSHについて（協：学校協議会委員 学：本校教員）

協：国際科学発表会において、質問を日本語でしたのが残念だった。

学：英語では質問が出にくいのでは、と気を利かせたらしい。

協：早めに準備をして、事前指導に時間を取り、質問の仕方や内容を指導しておくほうがよい。

学：忙しさのため、ようやく前日ぐらいに要項が出来上がるので、微調整がきかなかった。
今後は1週間前には作るようにしてもらう。

生活指導について

協：近隣の高校に比べて遅刻が多い。もっと厳しく指導してもいいのではないか。遅刻の原因は何か。

学：特定の生徒が遅刻数を増やしている。阪堺線の利用者の遅刻が多いのかもしれない。

協：夜、遅くまでのアルバイトが原因ではないか。アルバイトは禁止ではないのか。

学：禁止ではない。

協：多くの生徒がアルバイトをしているようであるが、なぜするのか調べる必要があるの

ではないか。携帯電話代のためにしているのではないか。

授業中も携帯を使用しているようであるが、携帯による問題はおこってないのか。

学：授業中の使用は禁止であり、見つければ放課後まで取り上げである。

昨年度問題が起こったが今年度は大きな問題はない。

協：中学校でも携帯が一番の問題であるので携帯電話会社から来てもらい、教師や生徒に対する研修や指導を行っている。中学校では学校に持ち込み禁止であるが・・・

学：各学年集会で指導を行っている。

EFHS事業について

協：TOEIC講習で全体としての評価に「悪かった」と答えている生徒がいるがどういうことか。

学：土曜日の午後に行っていたので、クラブ等と重なったので、参加しにくかったということではないだろうか。

学：今後は、TOEFL指導の方に重心をおいていく。

住吉高校のイメージ

協：中学生の間では、「派手でチャラい進学校」というイメージがあるが、標準服に変わり、そういうイメージも徐々になくなっていくのではないだろうか。

英語が伸びるというイメージはあるが総合科学の印象が薄いのではないか。

学：大学進学という点では総合科学の方が貢献しているのであるが、具体的にわかる結果が少なかったような気がする。これだけ様々な取り組みをしているが、案外中学校には伝わっていないところもある。

協：これからの住吉高校は府全体の中学校にアピールしていくのか、地元を大事にしているのか。

学：地元も大事にしつつ、府下全体の中学校へもアピールしていく。

高校を大学進学の為だけの予備校化するのではなく、充実した３年間を送る為に住吉高校の特色を出していく。